平成２６年３月５日
市長記者会見資料

感染症情報発信システムの運用を開始します

-Kawasaki city Infectious Disease Surveillance System (KIDSS) -

健康安全研究所は、新型インフルエンザ等の新たな感染症の発生に備え、医療機関との迅速な情報共有ネットワークを構築するため、平成２６年４月１日から感染症情報発信システム（KIDSS）の運用を開始します。

また、同時に本市における実地疫学専門家ネットワークの構築に向けたＦＥＴＰ－Ｋプラン※に基づき、毎年職員３名を国立感染症研究所実地疫学専門家養成コース（ＦＥＴＰ）初期導入コースへ派遣し、感染症対策のコアとなる実地疫学専門家を育成することで、総合的に感染症対策及び健康危機管理対応を支援し、市民の皆様の健康を守ります。

１　システム導入の背景・目的

平成２１年の新型インフルエンザ発生時においては、患者情報を医療機関から迅速に収集する手段がなかったため、対策の実施に非常に苦慮しました。そこで、医療機関における患者発生状況をリアルタイムに把握するとともに、行政からの情報を迅速に発信する情報共有ネットワークの構築を目的として、本システムを導入します。

２　運用開始日

平成２６年４月１日（火）

（医療機関向け一部機能は平成２６年３月１日（土）から運用開始）

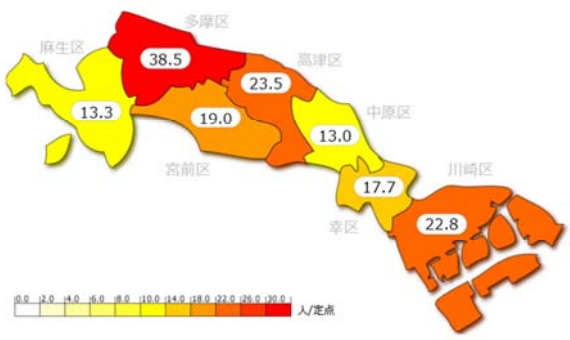
３　本システムの主な機能（別添資料参照）

（１）リアルタイムサーベイランス機能

公衆衛生上重要な疾患について、本市独自のリアルタイムサーベイランスを実施します。本機能は、新型インフルエンザ等の新たな感染症の発生に対応するため、公益社団法人川崎市医師会を中心とした医療機関の皆様に御協力いただき、Ｗｅｂ上で患者情報をリアルタイムに（毎日）収集し、即日還元します。

なお、本機能開始にあたり、当面はA型インフルエンザ及びB型インフルエンザを対象疾患としたリアルタイムサーベイランスを実施します。

【還元情報イメージ】



（２）情報共有掲示板機能

感染症の流行状況や病原体情報等を共有し、広域集団発生事例等を早期に探知するとともに、迅速な感染症対策に役立てます。

（３）情報配信機能

特に注目すべき感染症情報及び最新の通知・資料等について、メール及びＦＡＸにより医療機関の皆様へ一斉配信します。

４　期待される効果

新型インフルエンザ等の新たな感染症の発生時において、総合的に感染症対策を支援することができます。

○迅速なリアルタイムサーベイランスの実施

→地域における詳細な患者発生状況を把握できるため、迅速かつ効果的なまん延防止対策を実施することができます。

○情報共有掲示板の利用

→行政と各医療機関の間で、患者情報や病原体情報の共有が可能となるため、適切な対応及び診療により、市民の皆様の健康を守ることができます。

○情報配信機能の利用

→正しい情報を迅速かつ一斉に周知することが可能であるため、複数の情報による混乱を防ぎ、冷静な対応やさらには風評被害の防止につなげることができます。

５　他自治体における取組状況

一部機能を導入している自治体はあるものの、感染症に関する情報収集・解析・発信を総合的に行うシステムの導入は、全国初の取組です。

※ＦＥＴＰ－Ｋプランについて

○ＦＥＴＰ－Ｋプランとは？

ＦＥＴＰ－Ｋａｗａｓａｋｉプランの略称（⇔国レベルの対策：ＦＥＴＰ－Ｊａｐａｎ）

（ＦＥＴＰ：Field Epidemiology Training Program：実地疫学専門家養成コース）

○ＦＥＴＰ－Ｋプランの目的

市内における疫学調査支援のための初動体制及びネットワークを構築し、健康危機事象の拡大防止・再発防止に迅速に対応する。

○ＦＥＴＰ－Ｋプランの取組

・保健所等職員の人材育成による初動体制の構築

→職員を国立感染症研究所実地疫学専門家養成コース（ＦＥＴＰ）初期導入コース（１か月間、毎年４月開催）へ派遣

・平常時からのネットワークの構築

→事例発生を共有するためのメーリングリスト立上げ

・健康安全研究所を中心とした実地疫学専門家による支援

→職員向け事例検討会及び研修会の開催、効果的な疫学調査手法の検討

【問い合わせ先】
川崎市健康福祉局健康安全研究所
電話　０４４－２７６－８２５０
FAX　０４４－２８８－２０４４

川崎市健康安全研究所感染症情報センター

感染症情報発信システム

Kawasaki city Infectious Disease Surveillance System (KIDSS)

の運用を開始します

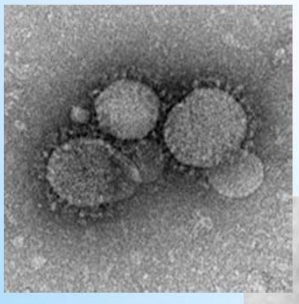
感染症情報の情報共有
ネットワーク構築に向けて

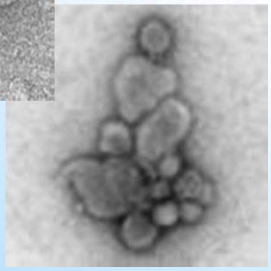
新型インフルエンザやMERS等の
新たな感染症の発生に対応するために・・・!!

- 川崎市内で疑い事例が発生しているか？
- 流行の地理的情報は？
- データをＣＳＶファイルでダウンロードして、独自に集計も可能

さらに．．．

- Web掲示板を使ったリアルタイムな情報共有
- 行政からの最新の通知を確認
- 過去の流行との比較
- メールやFAXで迅速に情報を配信

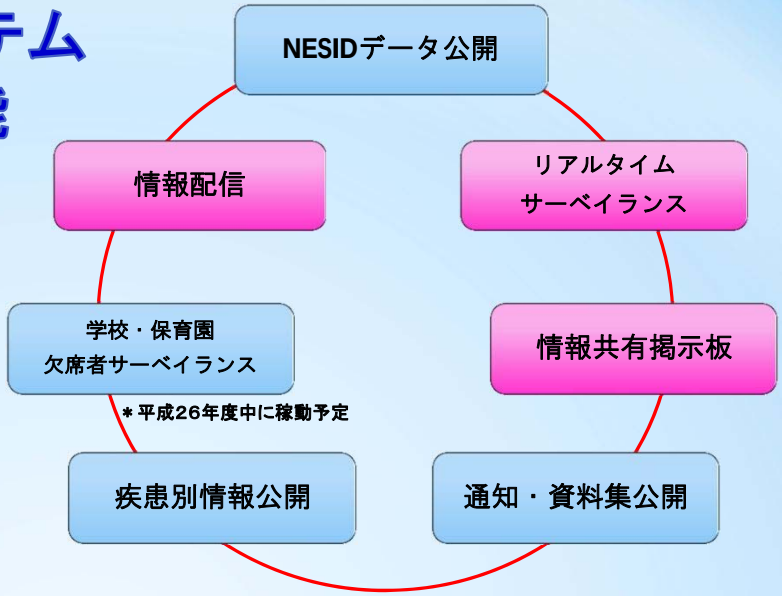




システムの概要はこちら・・・

感染症情報発信システム を支える7つの機能

感染症に関する様々な
情報を発信します。



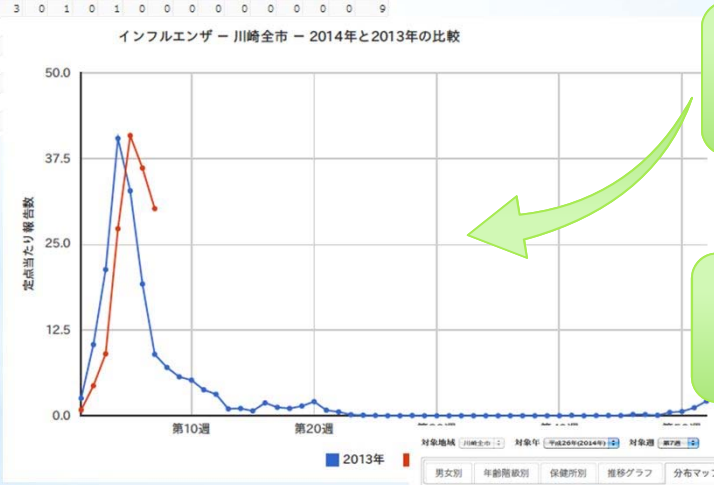
1　国の感染症発生動向調査システム（NESID）データ公開

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）」に規定される感染症の発生状況を、表・グラフ・地図によりＷｅｂ上に表示します。対象疾患・期間・地域等の条件を利用者が設定することも可能です。

年齢階層別 – 川崎全市 – 2013年第51週（12月16日～12月22日）

疾患名/年齢	0～5ケ月	6～11ケ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	歳以上	合計
インフルエンザ	0	0	1	2	4	4	6	0	6	3	9	8	3	5	4	5	1	2	0	0	63
ＲＳウイルス感染症	3	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17
咽頭結膜熱	0	1	8	7	13	14	7	5	4	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	65
Ａ群溶血性レンサ球菌		0	2	5	5	7	11	11	4	6	1	6	1	4	0	0	0	0	0	0	63
感染性胃腸炎		54	168	124	120	120	82	77	60	46	32	68	15	109	0	0	0	0	0	0	1076
水痘	0	3	8	11	9	6	3	6	8	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	56
手足口病	0	0	1	0	4	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
伝染性紅斑	0	0	0	1	2	1	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
突発性発	1	6	17	2	0	0															
百日咳	0	0	0	0	0	0															
ヘル	0	0	0	1	0	0															
流行	0	0	0	0	0	0															
急	0	0	0	0	0	0															
溶	0	0	1	0	0	0															

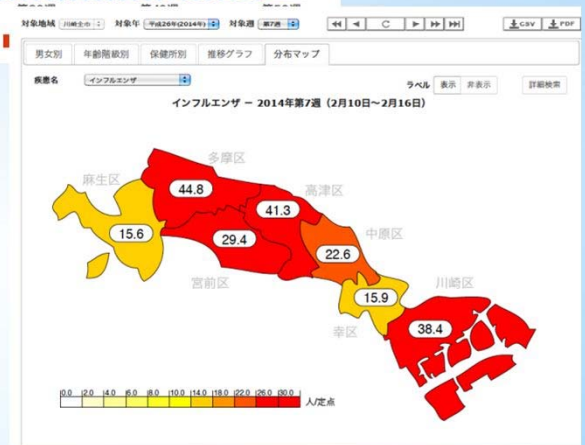
表・グラフ・地図は、PDFやCSVファイルなどで出力可能



過去の流行状況との比較も可能

検索したい流行時期(年・週)、疾患、地域等を選択して表示

色の濃淡で流行状況を一目で把握



本機能により表示するグラフ等は、感染症法に基づき、全数把握疾患は全医療機関、定点把握疾患は定点医療機関から保健所にいただく発生届等によるデータを集計したものです。

医療機関から保健所への届出については、今後も従来どおりFAXにてお送りください。

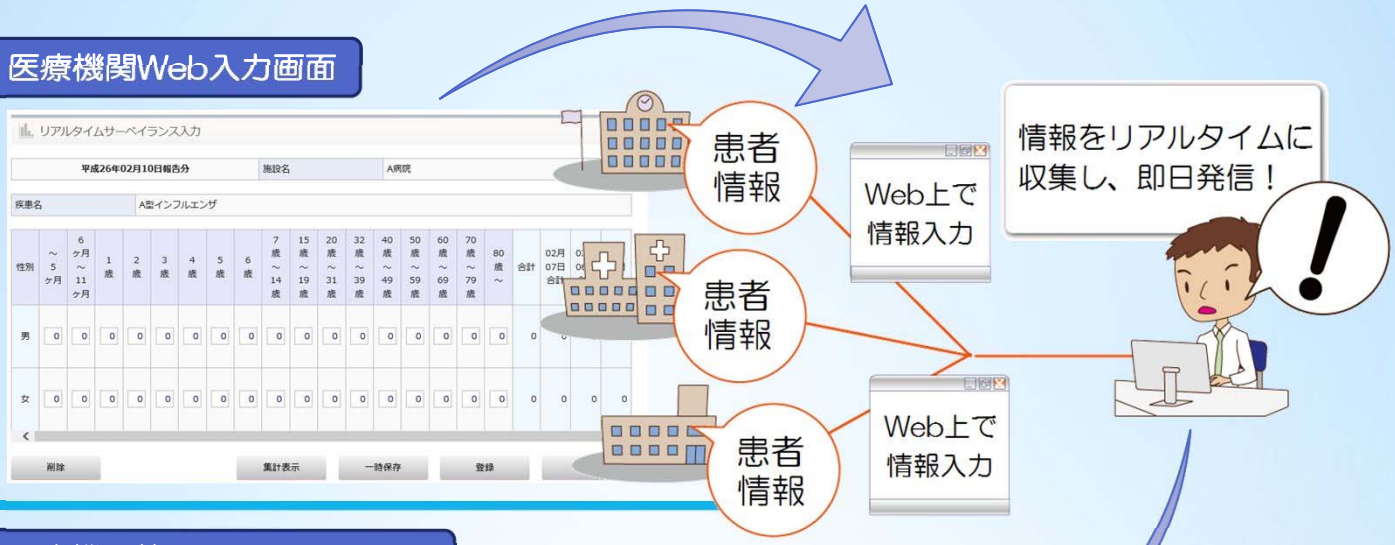
2　リアルタイムサーベイランス

疫学上重要な疾患については、本機能を用いた川崎市独自の「リアルタイムサーベイランス」を実施します。

新型インフルエンザや新感染症等の新たな感染症の発生に対応できるように、全医療機関を対象として、Ｗｅｂ上で患者情報をリアルタイムに（毎日）収集し、即日還元します。

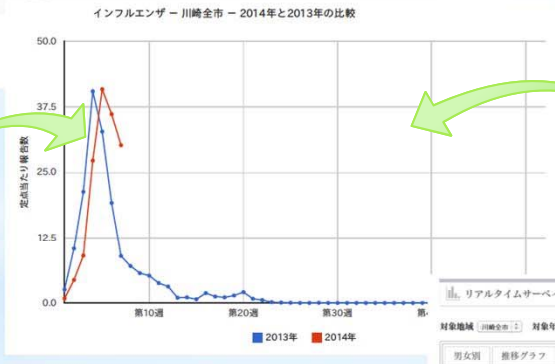
新たな感染症発生等の健康危機事象にも迅速に対応できるように、平常時から、Ａ型インフルエンザ等の通常発生する感染症で本機能を運用する予定です。

医療機関Web入力画面



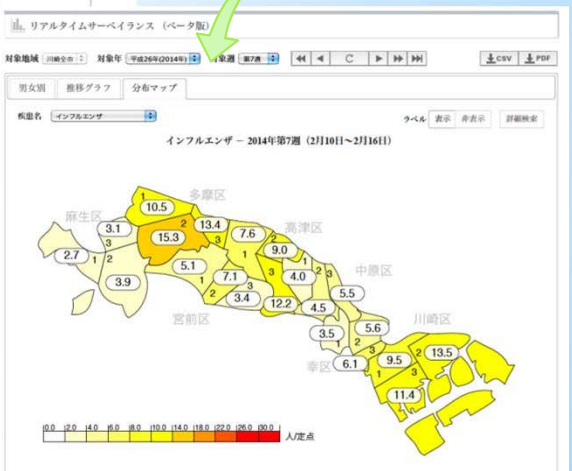
医療機関等へのWeb公開画面

最新の情報を即日発信！



- 感染症流行状況を表・グラフ・地図で公開
- 様々な検索条件で表示可能
- 詳細な地図情報を表示

リアルタイムに流行を把握できるため、健康危機事象に迅速に対応可能



本機能で還元する情報は国の感染症発生動向調査とは異なり、**市内医療機関の皆様がWeb上で日々入力していただくデータを集計**するものです。

入力いただける医療機関が多いほど、データは正確かつ信頼できるものになりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

3　情報共有掲示板

感染症の流行状況や病原体情報等を共有し、広域集団発生事例等を早期に探知するとともに、迅速な感染症対策に役立てます。

掲示板への書き込みは、一覧表やツリー形式で表示

診断画像などの画像ファイルも添付可能

タイトル名で検索可能

書き込みはカテゴリー別に分類

未読トピックスには「未読」と表示

一般市民の方は閲覧できないセキュリティページ内に導入します。

ただし、患者個人が特定されるような個人情報の書き込みはご遠慮くださいますようお願いいたします。

4　通知・資料集公開

国や川崎市が提供する通知・資料・様式・記事などをカテゴリー別に分類し公開します。
過去のものを含めた行政からの発信情報を、医療機関等において容易に取得できます。

No.	カテゴリー	タイトル	年月日
1	国からの通知	麻しん患者の増加について	H26/02/07
2	対策マニュアル	航空機内での麻疹伝播に関するリスク評価ガイドライン（国立感染症研究所感染症疫学センター作成）	H26/02/05
3	対策マニュアル	防ごう！ノロウイルスによる二次感染（川崎市作成）	H26/02/02
4	国からの通知	デング熱の国内感染疑いの症例について（追加情報提供）	H26/01/28
5	鳥インフルエンザ	WHO RISK ASSESSMENT Human infections with avian influenza A (H7N9) virus 21 January 2014	H26/01/21
6	国からの通知	デング熱の国内感染疑いの症例について（情報提供及び協力依頼）	H26/01/10
7	国からの通知	「細菌性髄膜炎患者等の発生動向の把握について」の廃止について	H25/12/05
8	国からの通知	日本脳炎及び予防接種後を含む急性脳炎・脳症等の実態把握について	H25/11/22
9	国からの通知	感染性胃腸炎の流行に伴うノロウイルスの予防啓発について	H25/11/20
10	国からの通知	第１３回「性の健康週間」の実施について	H25/11/18

(1) 2 3 4 ... 11 »

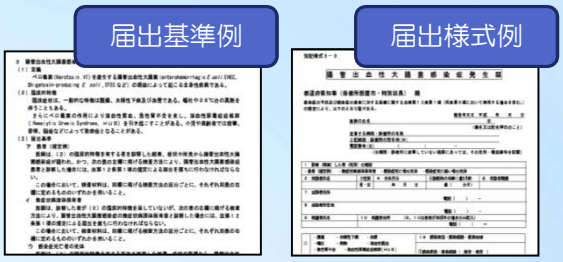
通知・資料等は、カテゴリー別に分類し、タイトル及び本文によるキーワード検索が可能

医療機関へ個別に郵送された通知及び郵送等を行わなかった軽易な通知等についても、閲覧可能です。

さらに、疾患別の予防対策マニュアル等も順次掲載する予定です。

5　疾患別情報公開

法令等に規定される感染症の届出基準や届出様式を公開し、感染症患者の診断・届出をサポートします。



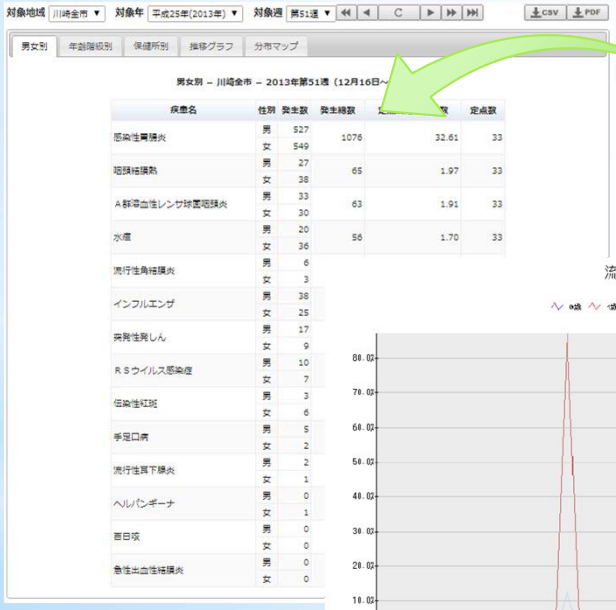
感染症法により、すべての医師に義務付けられている全数把握疾患に関する情報を、「疾患紹介」「届出基準」「届出様式」等にまとめます。

保健所への届出等の際には、こちらを参考にしてください。

6　学校・保育園欠席者サーベイランス

※調整中　平成26年度中に稼動予定

保育園、小学校、中学校等における出席停止対象者数等について、各施設からＷｅｂ上で情報を収集し、表・グラフ・地図情報として発信します。



画面イメージ

ここで表示するグラフ等は、保育園や学校等からいただく出席停止対象者情報等を集計したものです。

周辺地域の学校等における流行状況を迅速に把握し、日常の診療にお役立てください。

7　情報配信

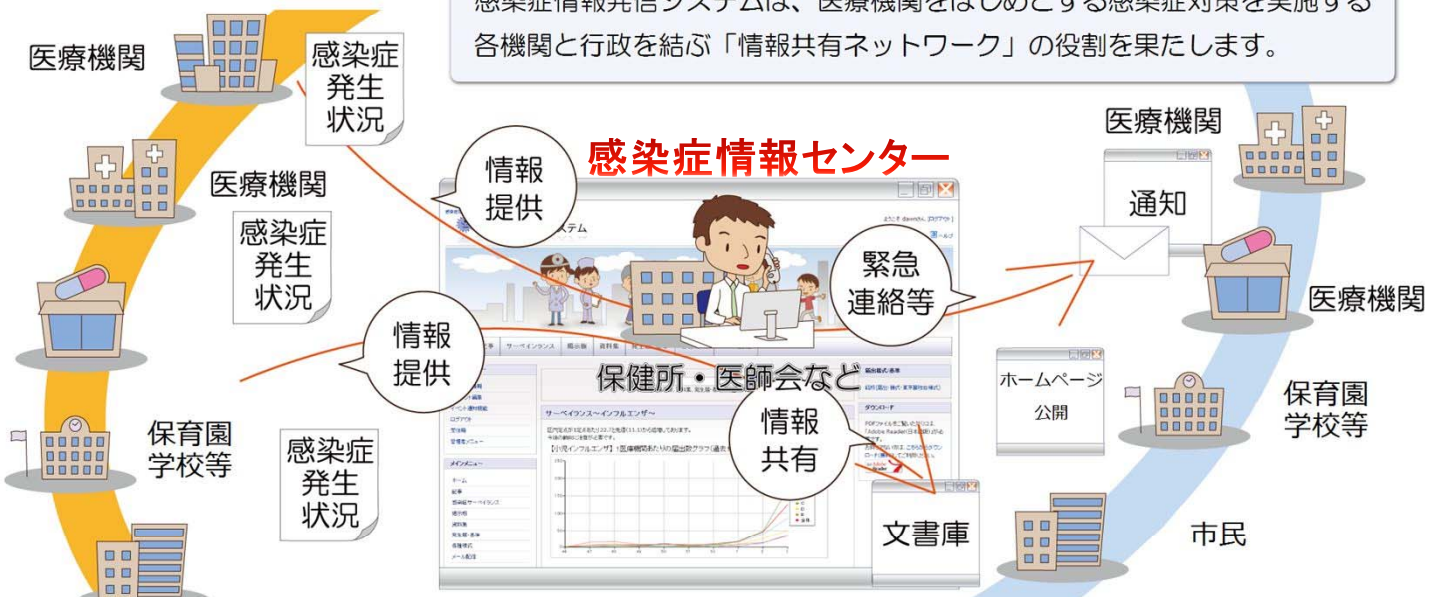
特に注目すべき感染症情報及び最新の通知・資料等については、メール及びＦＡＸにより一斉配信いたします。

メールが利用できない場合には、FAXによる送付も可能
※メールのみで一斉送信する場合もあります。

本機能では、緊急性の高い情報を積極的に配信する予定です。
従来、ホームページ等で発信していた情報や感染症流行状況等も、引き続き配信いたします。

感染症情報発信システムの情報収集・発信イメージ

感染症情報発信システムは、医療機関をはじめとする感染症対策を実施する各機関と行政を結ぶ「情報共有ネットワーク」の役割を果たします。



情報収集 → **情報解析** → **情報発信**

感染症の予防とまん延の防止